

管理所レビュー VOL.10

(H29.8.31 水源林管理所)

8月19日(土)の第11回のボランティア活動は、雨の心配もありましたが、雲が多いながらも晴れの日となりました。また、お盆明けの土曜日ということもあり、渋滞も心配されましたが、概ね予定どおりに到着し、間伐作業を実施することが出来ました。皆様、大変お疲れ様でした。

前日まで雨の降る日が続いたため、林内がぬかるんで足元が滑りやすい状態となっていました。安全作業にご協力いただき、ありがとうございました。

それでは、安全活動のための水源林管理所の振返りなどをお知らせします。

1 55名のご参加、ありがとうございます！



道具の準備もしっかりと。



雲の多い空模様でしたが・・・。



秋はもうすぐ。

2 作業の様子とワンポイントアドバイス



確実なロープのセッティングを。



スギの大径木には注意。



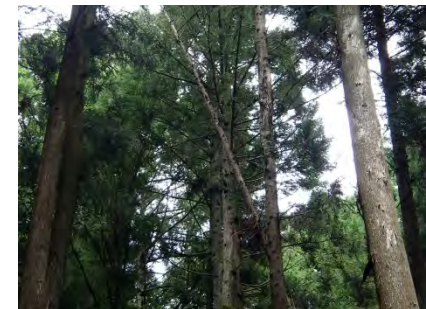
こちらもスギの大径木。



ロープ止めの処置がいいですね。



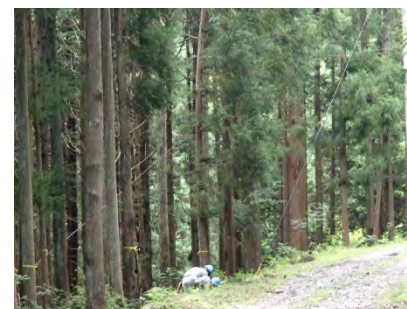
周囲の助言が大事です。



かかり木発生。安全な処理を。



急傾斜地では、上下の作業に注意。



電線、支線には要注意。



太い材の集積もバッチリ。

3 珍しい事例

今回、8班の活動において珍しい事例が発生しました。今後も同じようなことが起こる可能性が考えられるので、注意をお願いします。

〔状況〕

胸高直径約 22cm のスギを伐倒したところ、胸高直径約 10cm のヒノキにかかり木となった。かかり具合が浅く、ロープを強く引くことで倒せると判断し、ロープを引いたところ、スギと一緒にかかっていたヒノキが根ごと倒れた。



地面の水分が多い事も要因？



写真右から左に倒れました。



2本とも安全に処理しました。

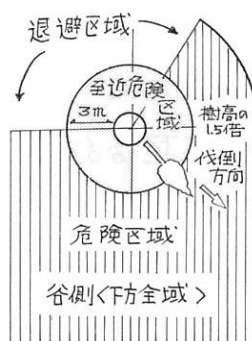
※ 今回のように、かかれた木が小さめで根の張り方が浅いヒノキなどでは、根ごと倒れる可能性があります。

また、かかれた木がスギの場合は、幹の途中から折れる可能性が考えられます。いずれの場合も危険が伴いますので、インストラクターは、作業者が安全な退避場所へ移動していることを確認してから、ロープを引く（倒す）指示を行ってください。

4 退避場所について

切り手やその周りの作業者は、ロープのセッティング後、受け口を切り始める前に必ず退避場所の確認を行い、伐倒前には確実に退避しましょう。

また、退避場所では、伐倒木の跳ね返りや回り木、折れた枝などの飛来などに十分注意をして、突発的な事態に備えましょう。



「伐木造材作業者必携より一部抜粋」

※ 杭や丸太切り用の小径木のストックが少なくなりました。適当な小径木が取れる班は、搬出をお願いします。

※ 次回は宿泊活動となります。準備を整えてご参加ください。

※ 9月1日（金）は、雨、最高気温 20 度、降水確率 60%。

9月2日（土）は、雨のち晴れ、最高気温 23 度、降水確率 30%の予報となっています。

★それでは9月1日、気をつけてお越しください。